

(シラバスNo.23)

科目名	プロジェクト研究 I	科目コード	24P-P1
		科目群名	教育実践研究科目
	Project Research I	必修/選択	必修
		教職	-
担当教員	専任教員	単位数	2

【授業概要】

本授業では、年間を通し、①自身の入学動機を見つめなおし、②そこから自身の課題意識を焦点化し、③2年目の課題研究の実践に向けた計画策定（一部、実施を含む）を行うことを目的とする。あわせて、それぞれのテーマに関して発表会の機会を設け、発表準備を通じて資料作成の能力を身につけ、発表を通じてプレゼンテーション能力を獲得し、他者と意見を交わすことで、他職種の中で自身の教育観を見つめなおすと同時に、自身の教育実践に、同一職種にも他職種にも伝えられることを目指す。

実践内容は以下の通り。

- (1) 「入学動機発表会」を通じた入学動機の確認、発表会の準備、及び発表・意見交換
- (2) 関連分野の基礎知識の習得
- (3) 基礎的な研究方法論の習得
- (4) 研究テーマや研究方法の検討、決定
- (5) 「中間発表会」を通じた課題、研究計画の焦点化、発表会の準備、及び発表・意見交換
- (6) 研究計画の整備、研究計画書の作成
- (7) 研究計画と年間の成果発表である「研究発表会」の準備、及び発表・意見交換

【授業の到達目標】

- ①自身の入学動機を自身の言葉で説明することができる。他者との意見交換によりそれを深めることができる。
- ②自身の課題意識を焦点化し、研究計画につなげることができる。
- ③2年目の課題研究の実践に向けた研究計画（研究テーマ・課題・問いの焦点化、研究方法、年間スケジュールを含む）を策定し、文書及び口頭で説明できる。

【授業の形態】

メディア授業の実施（あり）

<授業の特徴>（毎回実施に◎、適宜実施に○を付けてください）

形態	実施	具体的に実施すること
講義		
グループワーク・質疑	○	・研究テーマの検討 ・研究方法の検討
演習		
プレゼンテーション	○	・入学動機発表会 ・中間発表会 ・研究発表会
制作		
その他（個別指導）	○	・個別または複数による指導（アドバイザーごと）

【授業計画】

回	内容
1	イントロダクション
2	入学動機発表会の準備を通じた自身の課題の検討
3	入学動機発表会の資料作成・リハーサル
4	入学動機発表会での発表、質疑応答

5	研究テーマ・課題・研究の問いの検討
6	研究方法の検討
7	先行研究の調査、収集
8	中間発表会に向けた研究テーマ・課題・研究の問い・研究方法の再整理
9	中間発表会の資料作成・リハーサル
10	中間発表会での発表、質疑応答
11	テーマの修正及び調整
12	研究計画書の作成（1）年間で得た研究テーマ・課題の整理
13	研究計画書の作成（2）研究方法の詳細の設定・焦点化、スケジュール策定
14	研究発表会の資料作成・リハーサル
15	研究発表会での発表、質疑応答
<p>【履修上にあたっての準備】 それぞれの段階において適宜、アドバイザー教員のアドバイスを受けてください。</p>	
<p>【授業外学修（予習・復習）】 事前に資料を作成して、授業に臨んでください。 授業は全体での発表会と、アドバイザー教員の個別指導（グループ指導を含む）からなります。 必要な資料については、その都度指示を出します。</p>	
<p>【評価方法】 授業への貢献（合計3回の発表会）（50%）、研究計画書（50%）。 本科目では、科目修得試験として課題を課す形ではなく、最終提出物である研究計画書までの一連の学修成果に基づいた評価とする。 ※提出する際は事前に、アドバイザー教員の確認を受けてから提出してください。</p>	
<p>【教科書】 授業で指示を出します。</p>	
<p>【参考図書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿部利彦. (2017). 決定版！授業のユニバーサルデザインと合理的配慮 金子書房 ISBN 9784760828395 ・阿部利彦. (2017). 通常学級のユニバーサルデザインスタートダッシュ Q&A 5 5 東洋館出版 ISBN 9784491034195 ・岩澤一美. (2014). クラスが変わる！子どものソーシャルスキル指導法 ナツメ社 ISBN 9784816355875 ・NPO 星槎教育研究所(2009). クラスで育てるソーシャルスキル 日本標準 ISBN 9784820804147 ・阿部利彦・岩澤一美(2019). これだけは知っておきたい 発達が気になる児童生徒の理解と指導・支援 多様性のある子どもたちのあしたのために 金子書房 ISBN 9784760832705 ・学習指導要領及び解説（小学校・中学校・高等学校）：文部科学省 ・蓮尾直美・安藤知子他. (2013). 学級の社会学 ナカニシヤ出版 ISBN 9784779507694 ・浜田博文. (2012). 学校を変える新しい力 小学館（Kindle 版） ISBN 9784098401260 ・石戸教嗣・今井重孝編著. (2011). システムとしての教育を探る 勁草書房 ISBN 9784326250707 ・大谷 尚. (2019). 質的研究の考え方—研究方法論からSCATによる分析まで 名古屋大学出版会 ISBN 9784815809447 ・白井祐浩. (2017). 統計嫌いのための心理統計の本:統計のキホンと統計手法の選び方 創元社 ISBN 9784422116259 ・秋田喜代美・藤江康彦. (2019). これからの質的研究法 ~15 の事例にみる学校教育実践研究~ 東京図書 ISBN 9784489023071 <p>※このほか「専門職者としての基盤」で提示される図書も参考にしてください。</p>	